

事務事業名 保護司会補助事業

出力日：令和08年03月16日

キーコード：151

施策：	17	地域共生社会の推進	財務コード	01030101-03-127
基本事業：	03	地域福祉を支え、推進する人や組織の担い手づくり	担当部	健康福祉部
基本事業の成果指標	福祉委員の数 地域での福祉活動に参加している市民の割合 福祉ボランティア数 民生委員・児童委員の充足率		担当課	生活福祉課
			担当係	地域福祉担当



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	～				
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）		2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）			
筑紫保護区保護司会筑紫野支部		筑紫保護区保護司会筑紫野支部は、主に下記の活動を行っており、円滑に実施できるよう、同支部からの申請に基づき、補助金を交付する。 ・保護観察になった人への生活上の助言や就労の援助 ・刑務所や少年院などに入っている人の出所後の生活環境などの調整 ・「社会を明るくする運動」及びその推進大会の実施など地域での犯罪予防の啓発活動 など			
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）		【申請手順】 申請書提出 申請内容確認 補助金交付 実績報告			
犯罪を犯した人、非行をした人の更生・社会復帰と犯罪のない社会づくりを推進するため、保護司会筑紫野支部を支援し、その活動を維持・充実させる。					

4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称	単位	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	10年度	目標	
		実績	実績	当初	要求	計画	計画		
保護司会会員数	人	20	20	22	22			22	
大会参加者数	人	0	250	300	300			300	

5. コスト									
事業費	計	千円	250	250	250	250			
	国	千円	0	0	0	0			
	県	千円	0	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0	0			
	その他	千円	0	0	0	0			
一般	千円	250	250	250	250				
正職員人工数		人工	0.11	0.15	0.18				
正職員人件費		千円	860	1,203	1,509				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	1,110	1,453	1,759	250			

6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている	指標A<状況>保護司の人数は、令和6年度も20人を維持している。 <原因>定年などもあり毎年退任者がおり、人材不足であるが保護司の皆さんの努力により維持している。								
どちらかといえばあがっている	指標B<状況>「社会を明るくする運動推進大会」は、令和5年度は豪雨の恐れのため中止、令和6年度は250人が参加した。								
あがっていない（停滞・低下）	<原因>更生保護・再犯防止を啓発するため、保護司会が小中学校や民生委員児童委員連合会などに出向き、参加を依頼している。								

7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								

8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）					改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									

事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）					備考・特記事項 or 進行管理欄				
法務大臣から委嘱された保護司は、罪を犯した人の更生と社会復帰を助け、犯罪のない明るい社会づくりに取り組んでいる。国の再犯防止推進計画に基づき、令和7年3月に筑紫野市再犯防止推進計画を策定した。今後も連携して取組を進める。									